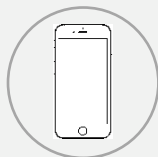


2023年9月期 第2四半期 決算説明会

2023年5月12日（金）

証券コード：9438



本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

■ 目次

■ P.01 2Q決算概要

- 02 決算ハイライト
- 03 連結PL
- 04 連結販管費内訳
- 06 2Q業績予想との差異
- 07 通期業績予想の修正
- 08 セグメント別業績

■ P.20 3Q以降の取り組み

- 21 FY2023基本方針と重点課題
- 22 クラウド薬歴
- 24 母子手帳アプリ+子育てDX
- 31 学校DX事業
- 34 中期的な収益イメージ

■ P.36 付属資料

- 37 FY2023業績予想
- 38 連結BS
- 39 連結PL推移
- 40 連結販管費推移
- 41 セグメント別事業
- 42 主なヘルスケアサービス一覧
- 43 ヘルスケアサービス全体像
- 44 クラウド薬歴
- 47 母子手帳アプリ
- 48 学校DX事業

2Q決算概要

決算ハイライト

1

営業利益は減益、業績予想を下回る

主因：法人向けDX支援事業の赤字案件

- ・売上高： 13,631百万円 (前年同期比+655百万円、業績予想比+931百万円)
- ・営業利益： △18百万円 (前年同期比△617百万円、業績予想比△218百万円)
- ・経常利益： 187百万円 (前年同期比△105百万円、業績予想比+187百万円)

2

通期業績予想を修正（営業利益のみ下方修正）

- ・売上高： 26,800百万円 (前回予想比+800百万円)
- ・営業利益： 200百万円 (前回予想比△600百万円)
- ・経常利益： 400百万円 (前回予想据え置き)

3

ヘルスケア事業と学校DX事業：計画通り収益改善 その他事業：法人向けDX支援事業の赤字案件対応続く 今期中の収束対応進める

連結PL

売上高：増収、利益：減益

(単位：百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比		
			金額	増減率	
売上高	12,975	13,631	+655	+5.1%	1Q: 動画配信の スポット売上計上
売上原価 (原価率)	3,814 29.4%	4,481 32.9%	+666	+17.5%	1Q: 動画配信の スポット売上原価計上
売上総利益 (利益率)	9,160 70.6%	9,150 67.1%	△10	△0.1%	
販管費 (販管費率)	8,561 66.0%	9,168 67.2%	+607	+7.1%	・外注費の増額 (学校DX事業) ・広告宣伝費の増額 (AdGuard)
営業利益 (利益率)	599 4.6%	△18 -%	△617	-%	
経常利益 (利益率)	292 2.3%	187 1.4%	△105	△36.1%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (利益率)	123 1.0%	△ 326 -%	△449	-%	・1Q: グループ会社間の 株式異動に伴う法人税 計上

連結販管費内訳

広告宣伝費・外注費：増加

(単位：百万円)

	FY2022 2Q	FY2023 2Q	前年同期比		
			金額	増減率	
販管費総額	8,561	9,168	+607	+7.1%	
広告宣伝費	758	1,016	+258	+34.1%	AdGuard向け 販促費の増加
人件費	3,835	3,947	+111	+2.9%	
支払手数料	1,538	1,491	△46	△3.0%	
外注費	885	1,059	+173	+19.6%	ソフトウェア 資産計上の厳格化 (学校DX事業)
減価償却費	633	591	△42	△6.7%	
その他	909	1,062	+152	+16.8%	

(ご参考) 母子モ(株)株式の売却益に対する法人税関連の決算処理

単体決算 当期純利益は1,096百万円のアップ要因

子会社株式売却益： 1,579百万円

法人税等： 483百万円

連結決算 当期純利益は△483万円のダウン要因

株式譲渡益： 0百万円（連結消去）

法人税等： 483百万円（法人税等調整額の計上を行わない）

2Q業績予想との差異

売上高：動画配信のスポット売上

営業利益：DX支援事業の赤字案件の対処（売上原価増加）、AI事業の受注減

経常利益：持分法投資利益の計上

親会社株主に帰属する四半期純利益：持分変動利益（特別利益）の計上

(単位：百万円)

	FY2023 1H		差異
	直近予想	実績	金額
売上高	12,700	13,631	+931
営業利益	200	△18	△218
経常利益	0	187	187
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△740	△326	+414

通期業績予想の修正

売上高：動画配信のスポット売上

営業利益：DX支援事業の赤字案件の対処（売上原価増加）、AI事業の受注減

経常利益：持分法投資利益の計上

親会社株主に帰属する当期純利益：持分変動利益（特別利益）の計上

（単位：百万円）

	FY2023		差異
	直近予想	今回予想	金額
売上高	26,000	26,800	+800
営業利益	800	200	△600
経常利益	400	400	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△600	△400	+200

セグメント別業績

コンテンツ事業

- ・コンテンツ事業
(エンタメ・ライフ系コンテンツ)
- ・オリジナルコミック事業



ヘルスケア事業

- ・女性向けヘルスケア事業
- ・子育てDX事業
- ・クラウド薬歴事業
- ・オンライン診療サービス 他

LunaLuna

母子手帳アプリ

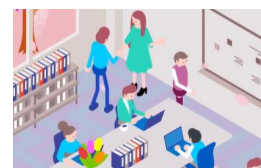


CARADA 電子薬歴
Solamichi

学校DX事業

- ・学校DX事業

BLEND

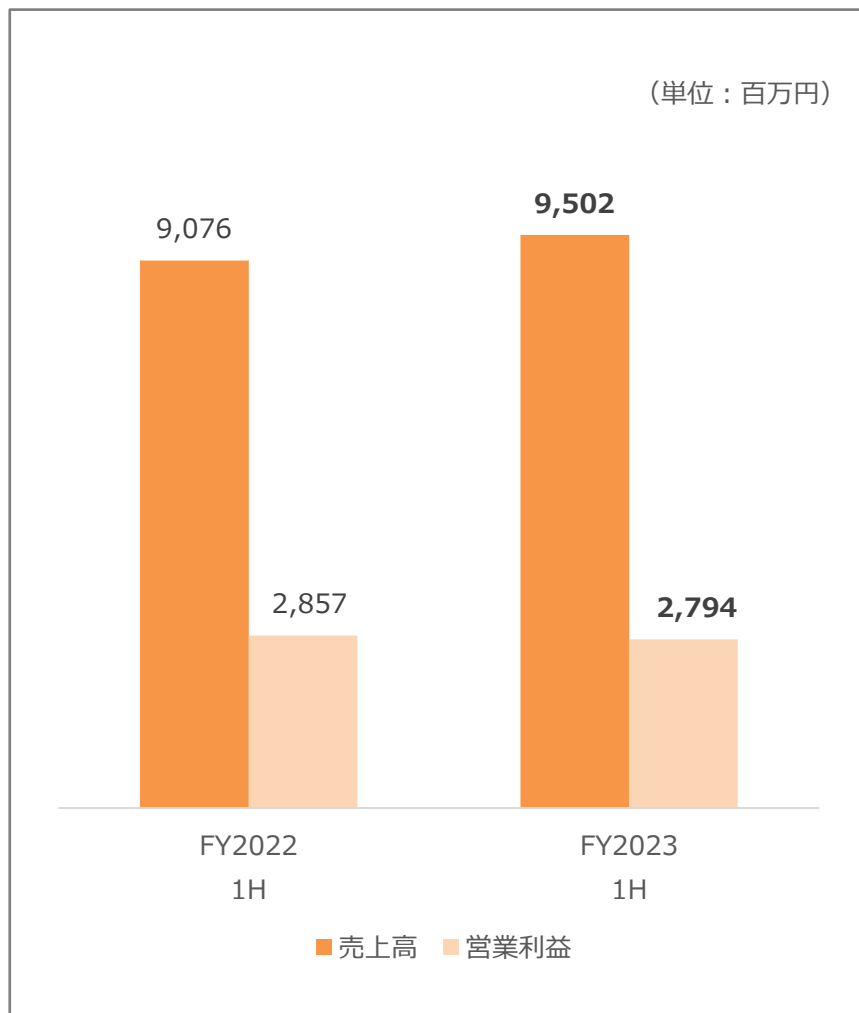


その他事業

- ・AI事業
- ・DX支援事業
- ・法人向けソリューション



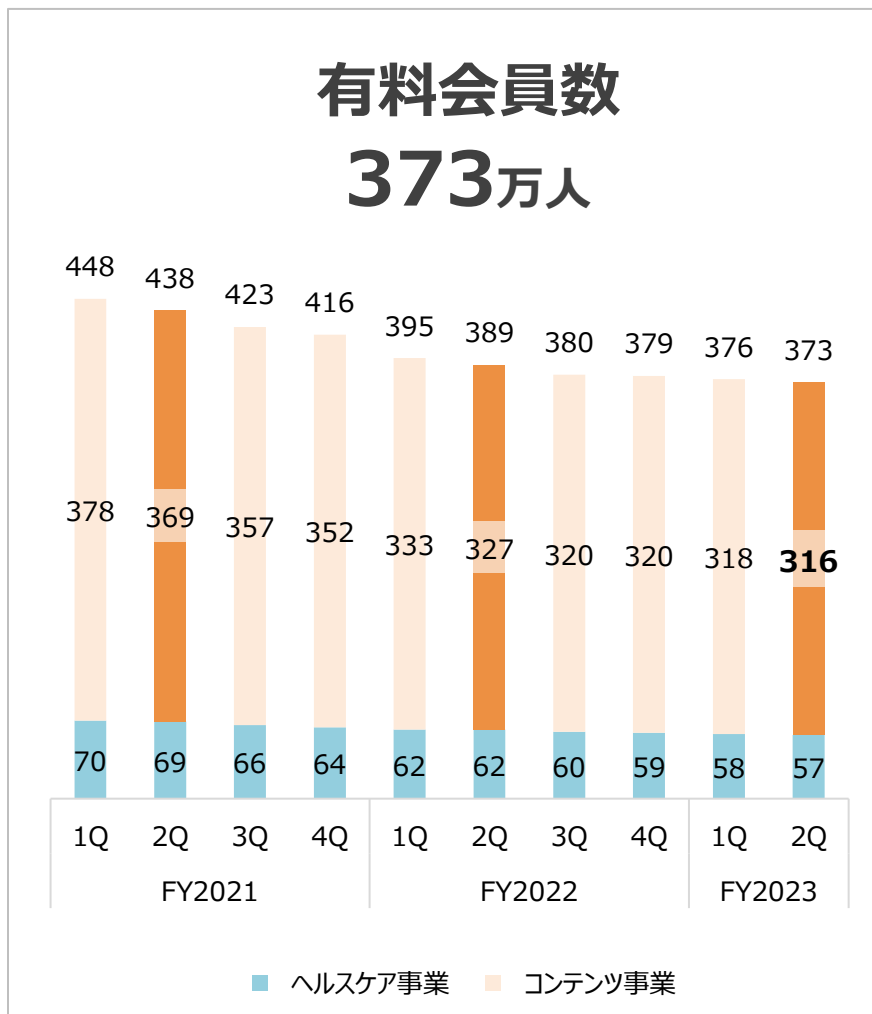
コンテンツ事業：売上高・営業利益



売上高増収、利益微減

- + : 動画配信の
スポット売上計上 (1Q)
- : 有料会員数減少
広告宣伝費増加

コンテンツ事業：有料会員数



減少幅は縮小傾向

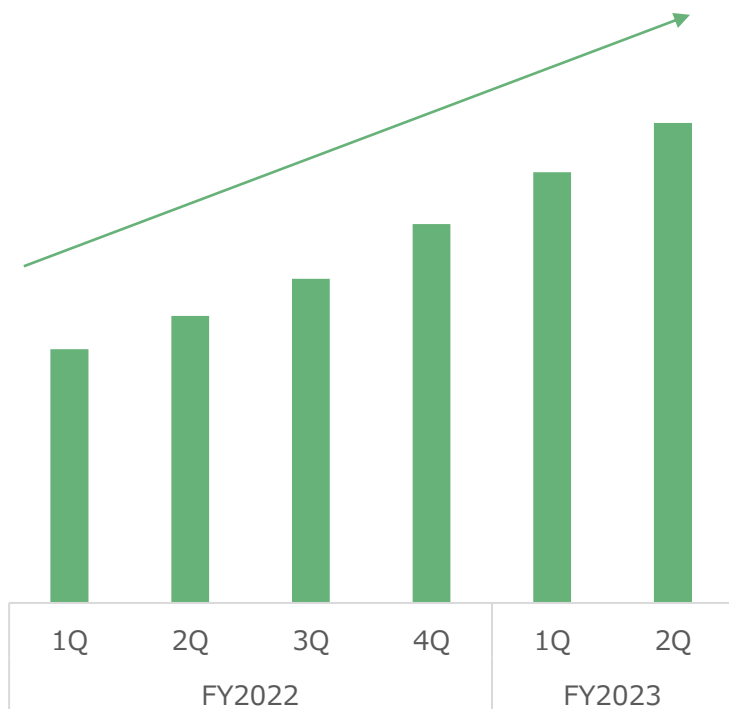
- ・ セキュリティ関連アプリ好調
- ・ 直前四半期比では横ばい

※グラフは従来からの月額会員数集計方法に合わせ、ヘルスケア事業の月額課金モデルの有料会員数（リナルナ、カラダメディカ）を含んでいます。

コンテンツ事業：セキュリティ関連アプリ



ADGUARD 有料会員数



セキュリティ関連アプリ好調 57万人まで拡大

4つの機能



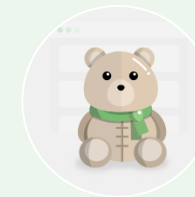
広告ブロック



追跡ブロック

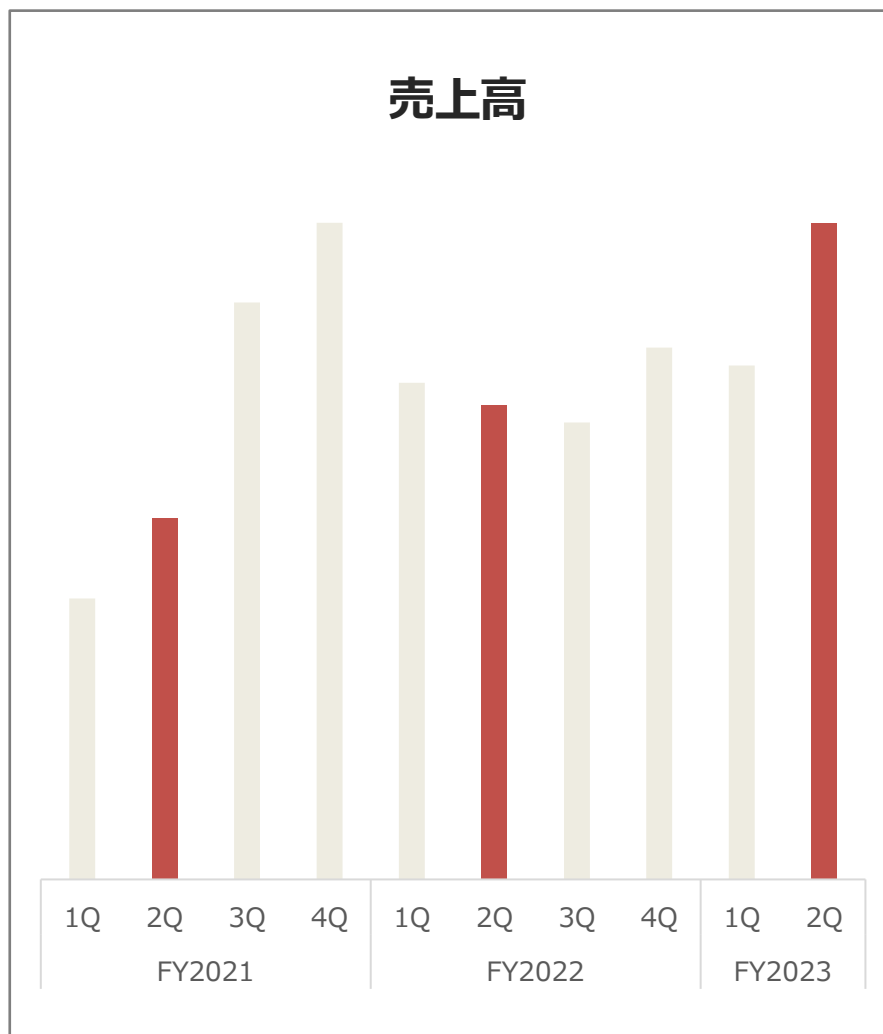


脅威ブロック



ペアレント機能
(子どもの保護機能)

コンテンツ事業：オリジナルコミック

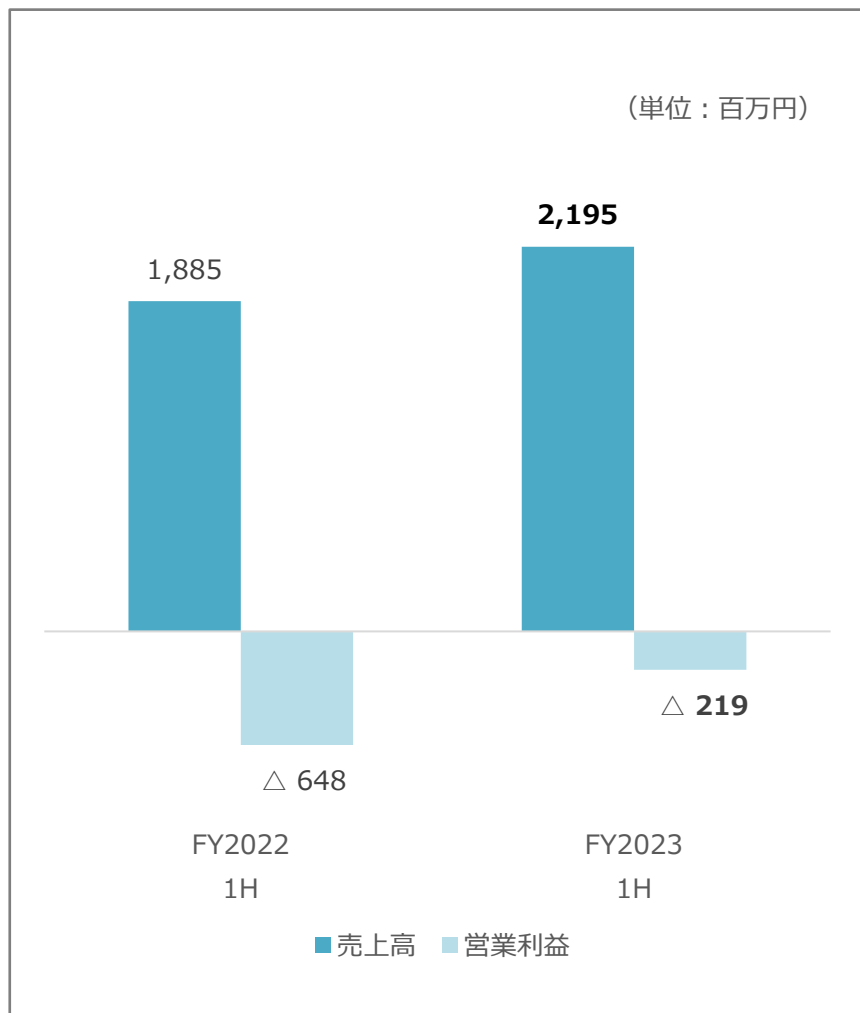


安定成長

ヒット作品連載が寄与

作品投入数維持

ヘルスケア事業：売上高・営業利益



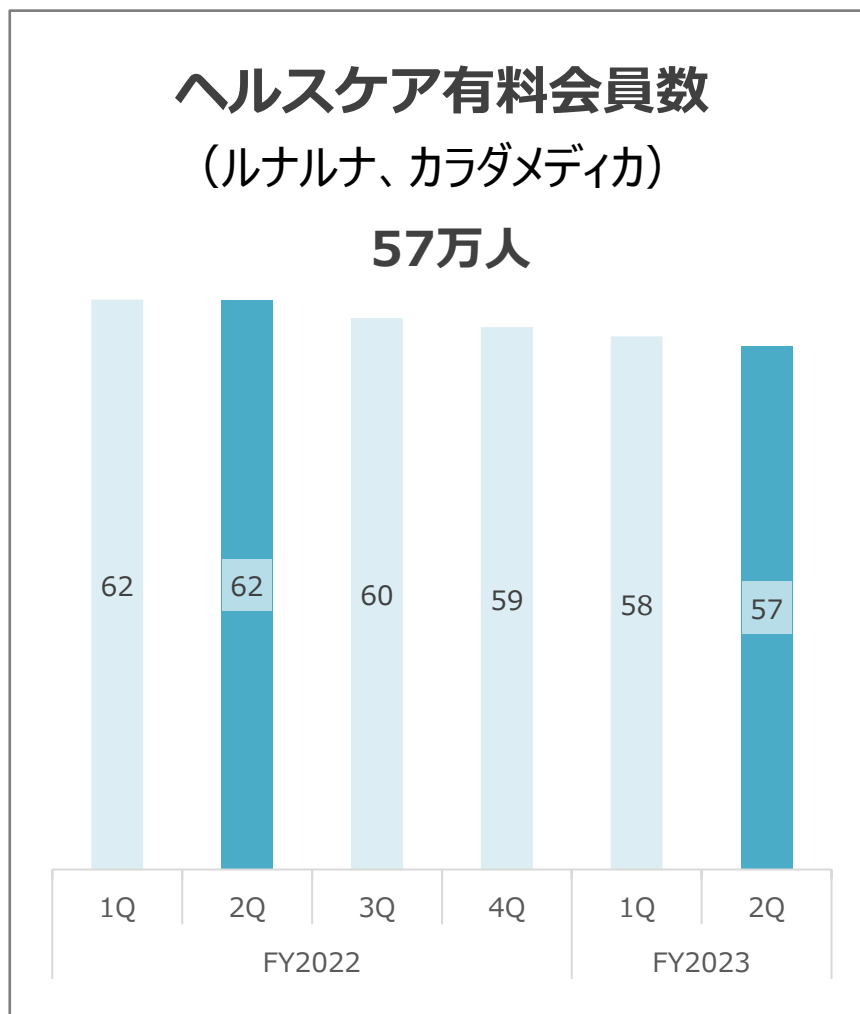
売上高増収、赤字縮小

+ : クラウド薬歴順調

+ : 子育てDX好調

- : 有料会員数減少

ヘルスケア事業：有料会員数



直前四半期比横ばい

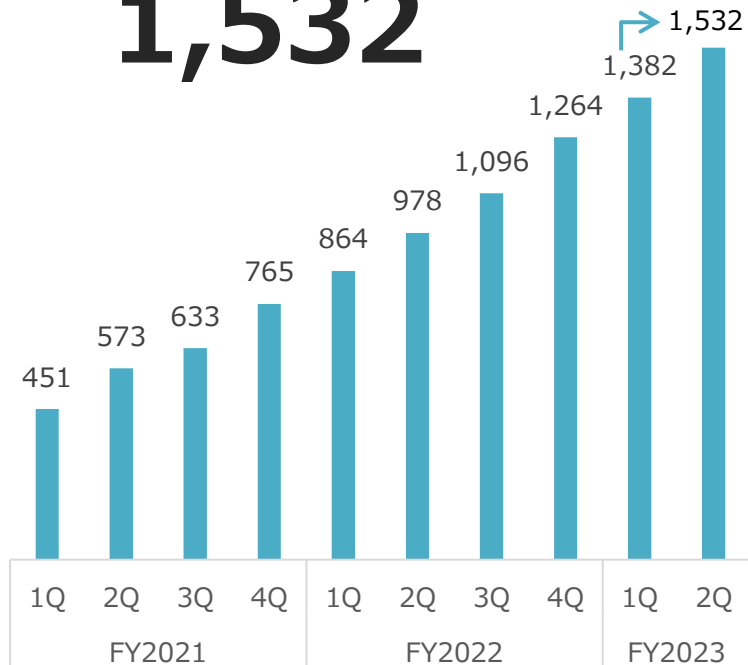
ヘルスケア事業：クラウド薬歴

ČARADA 電子薬歴 Solamichi

導入店舗数

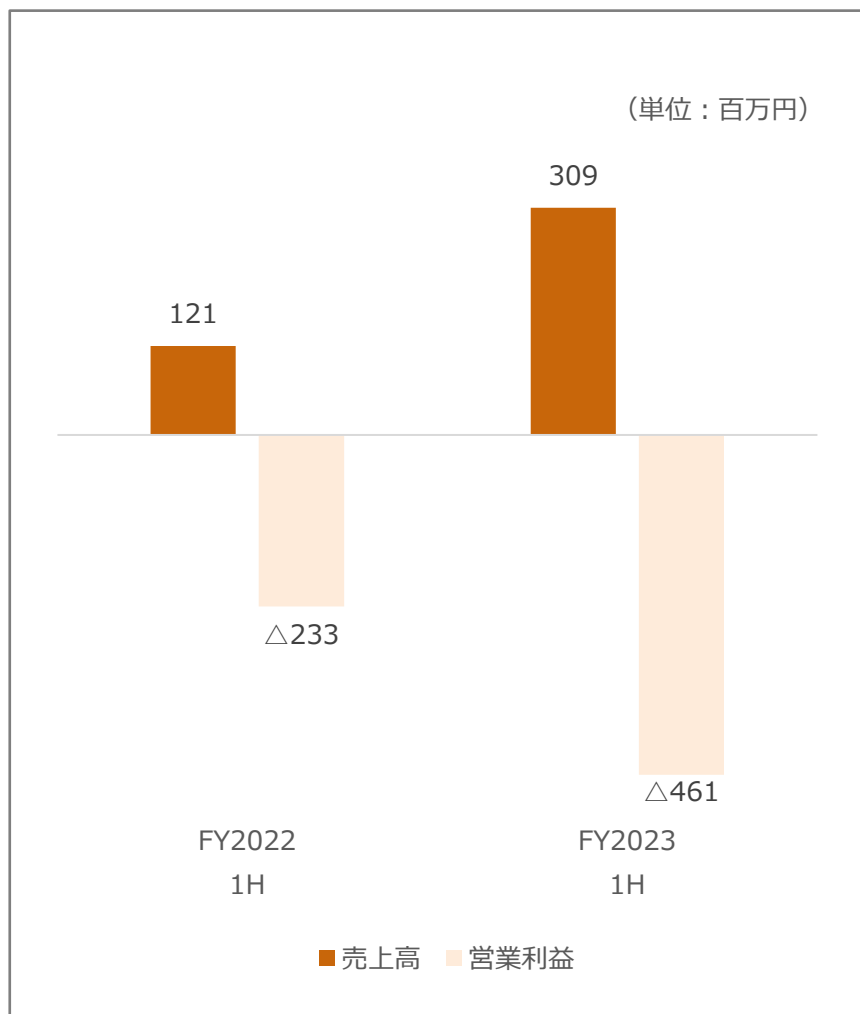
1,532

+150



導入店舗数、順調に拡大

学校DX事業：売上高・営業利益



売上拡大

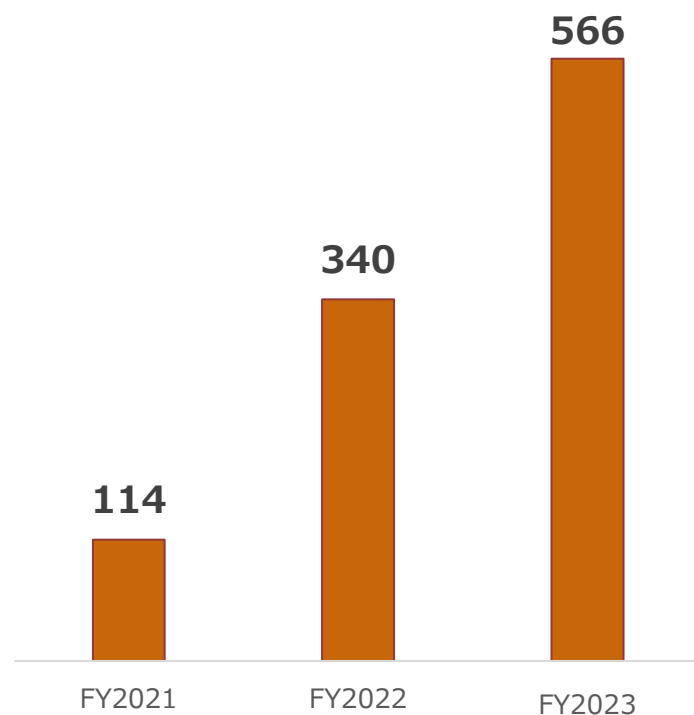
- ・ 前年同期比 + 155%
- ・ 導入学校数の増加

営業赤字

- ・ ソフトウェア資産計上を厳格化 (前期3Q~)
- ・ 受注急増対応の大規模先行投資

学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

導入学校数

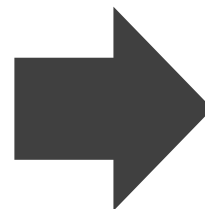
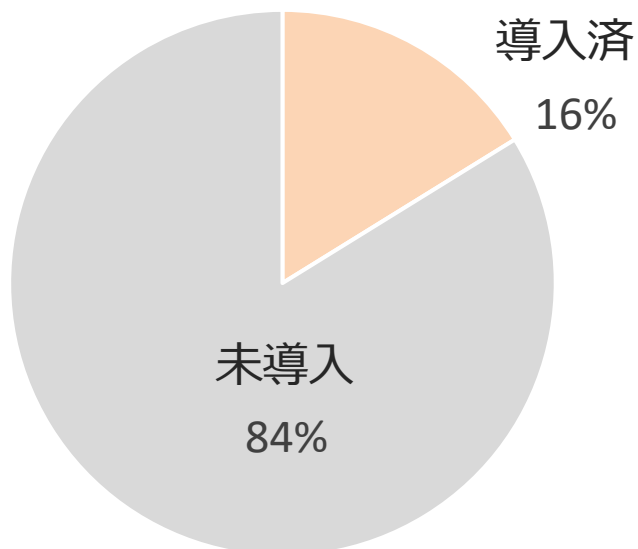


2023年4月からの 導入学校数拡大

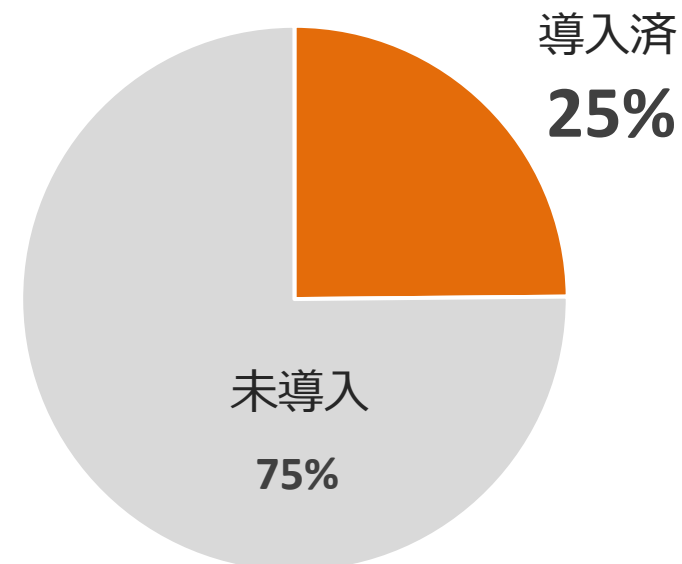
- ・ 2023年10月導入の受注確定 (26校)
- ・ 2024年4月導入の候補案件多数

全国私立高校のシェアは25%まで拡大

FY2022



FY2023

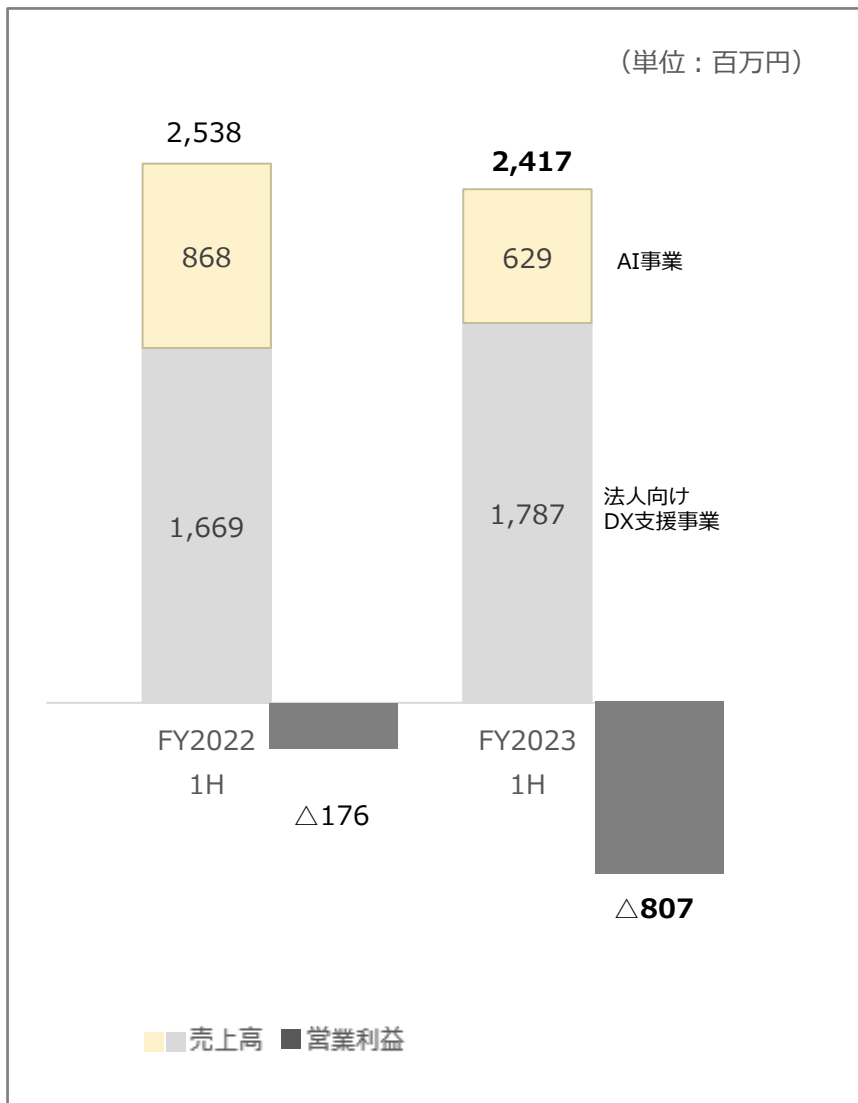


※一部小中学校を含む

資料：文部科学省ホームページより当社作成

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/main5_a3_00003.htm#topic1

その他事業（法人向けDX支援、AI等）：売上高・営業利益



売上微減
・ AI事業

営業赤字
・ 法人向けDX支援事業の一部で赤字案件対応

3Q以降の取り組み

FY2023基本方針と重点課題

1. ヘルスケア事業：さらなる売上成長

- ① クラウド薬歴事業のさらなる拡大
- ② 子育てDX『母子モ』のプラットフォーム戦略推進

2. 学校DX事業：さらなる売上成長

- ① 『BLEND』のバージョンアップ
- ② 4月の導入学校数拡大

3. コンテンツ事業：利益確保

- ① オリジナルコミック事業成長
- ② セキュリティ関連アプリ成長

4. その他事業：売上成長

(AI、DX事業)

- ① AI事業の拡大
- ② DX支援事業の拡大

ヘルスケア事業：クラウド薬歴

調剤薬局と患者をつなぐ

クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi



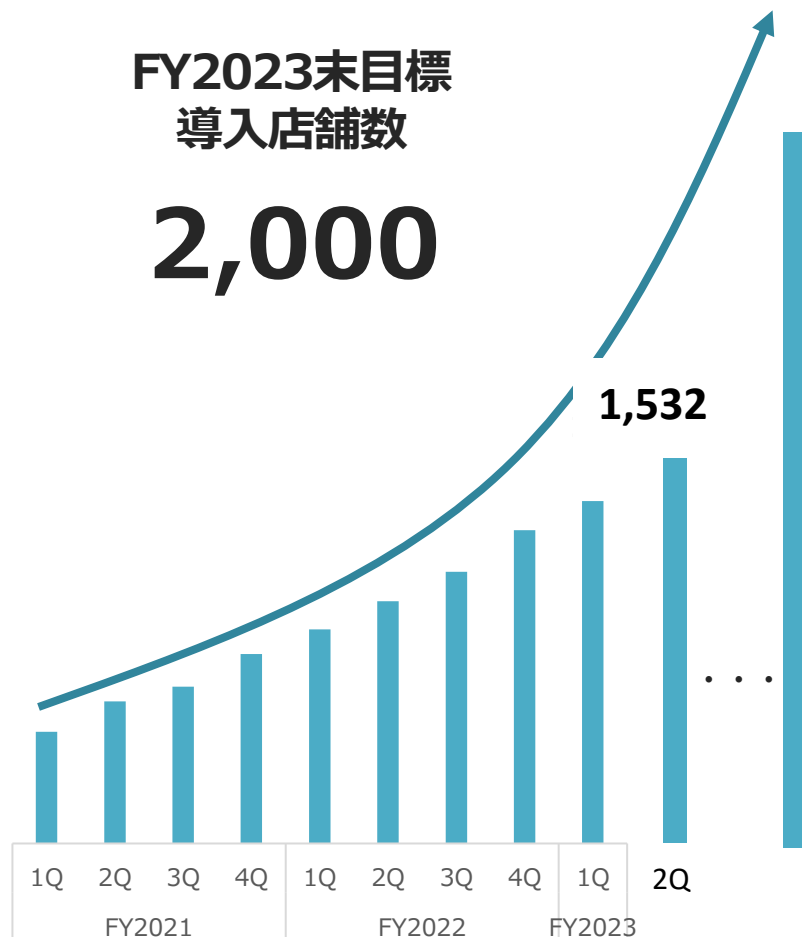
ヘルスケア事業：クラウド薬歴

営業連携の強化と機能開発の強化を継続

CARADA 電子薬歴 Solamichi

FY2023末目標
導入店舗数

2,000



① 営業連携の強化を継続

- ・ 医薬品卸大手との協業



⇒さらなる営業情報
の共有と効率化



② 差別化に向けた機能開発の強化を継続

- ・ 他店舗間薬歴連携機能
- ・ 在宅・介護向け機能
- ・ 加算ロジック、指導ナビ
- ・ 電子処方箋対応 他 随時追加予定

ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

子育て世代と自治体・病院をつなぐ

母子手帳アプリ+子育てDX





ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ『母子モ』から始まる プラットフォーム事業展開

Phase 1：母子手帳アプリ『母子モ』

Phase 2：オンライン相談

Phase 3：子育てDXサービス



ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 1, 2：母子手帳アプリ『母子モ』とオンライン相談

『母子モ』が母子手帳アプリのスタンダードに

Phase1 母子手帳アプリ

Phase2 オンライン相談

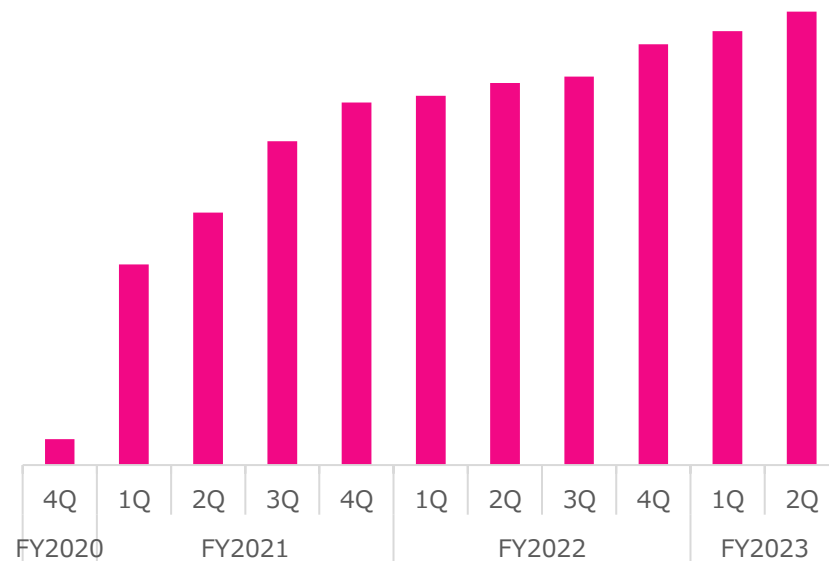
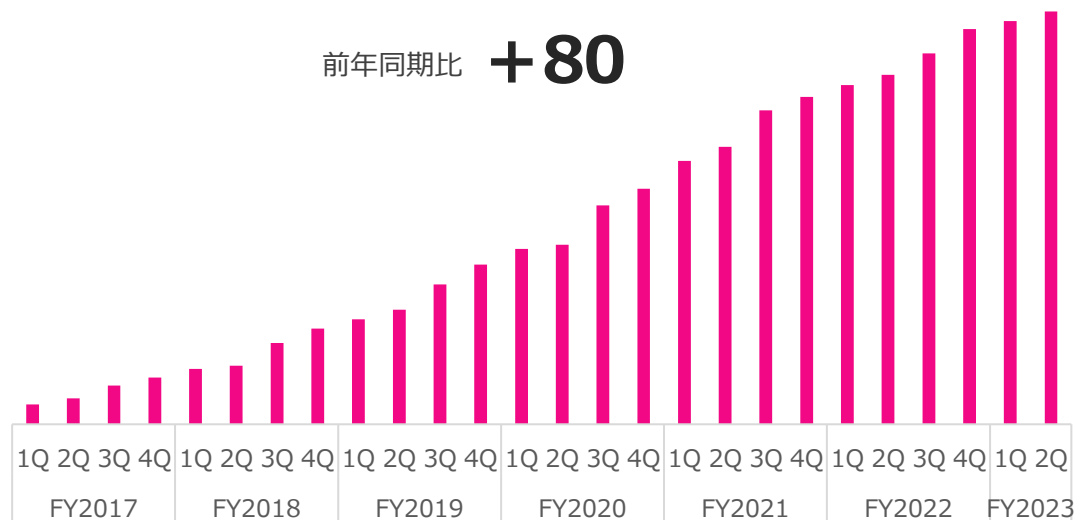


2023年3月末

2023年3月末 **522**

『母子モ』オンライン相談 成約数 **70**

前年同期比 **+80**



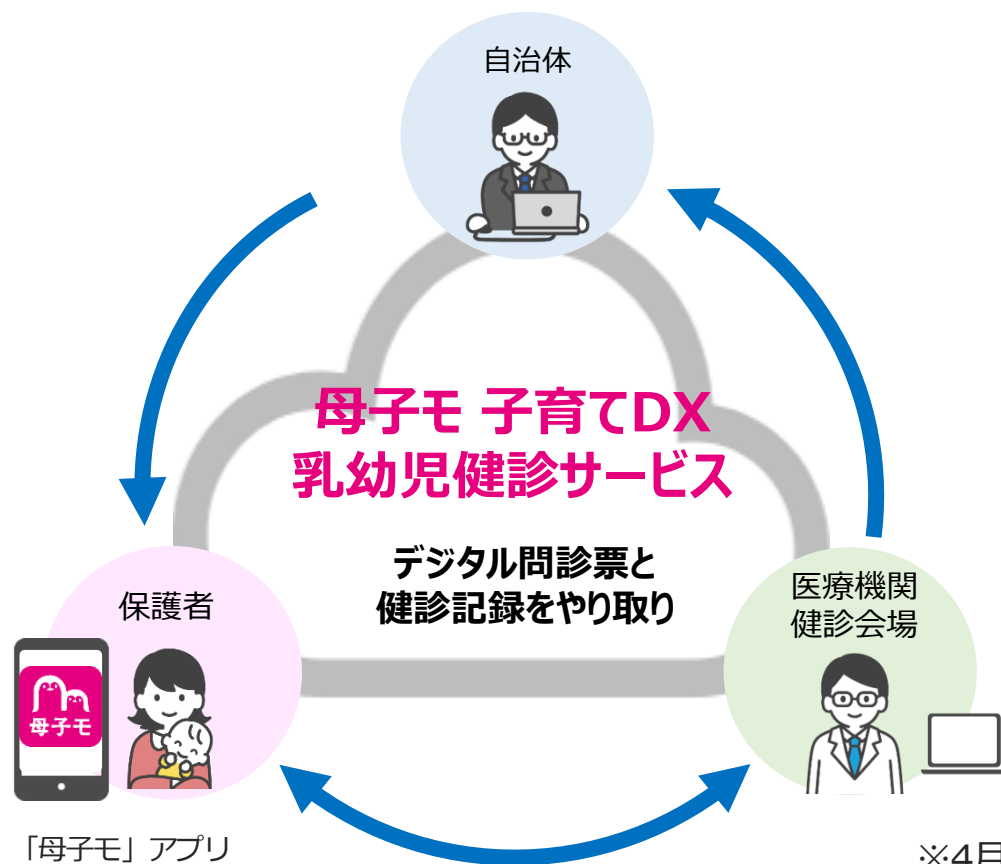


ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

母子手帳アプリのアドオン機能「質問票」「予約機能」の導入が急増

～1月開始の厚生労働省※「伴走型相談支援」が追い風に～



子育てDXサービス
導入自治体数

45

※4月1日から「こども家庭庁」に移管しています。

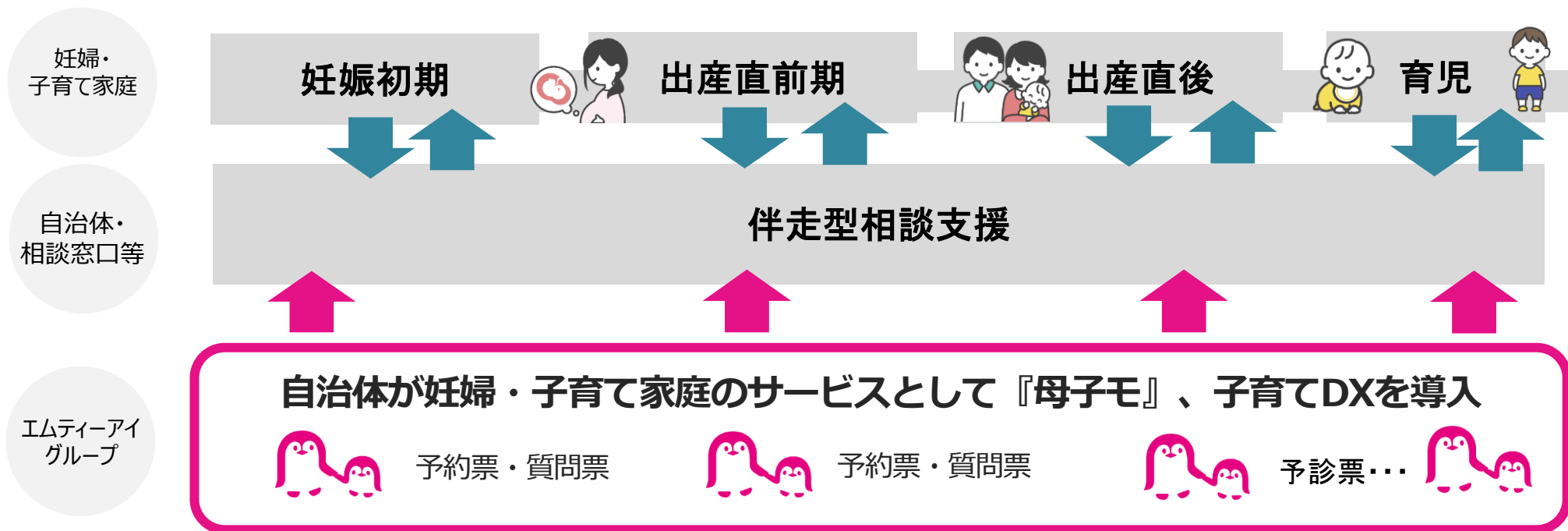


(ご参考) ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

伴走型相談支援とは：

2023年1月から開始した政府の妊娠・子育て支援サービス。妊婦や2歳くらいまでの子供がいる子育て家庭への支援のため、出産・育児の見通しを一緒に立てる。妊娠届時と出産間近、出産直後の計3回の面談、10万円相当のギフト券がもらえるだけでなく、地域の身近な相談機関とつながることで、安心して出産・子育てができる環境を整備する。





母子手帳アプリ+子育てDX

母子手帳アプリ+子育てDXのプラットフォーム化進む

Phase	1	2	3
サービス機能	母子手帳アプリ	オンライン相談	子育てDX ・小児予防接種 (デジタル予診票等) ・乳幼児健診 ・乳児全戸訪問 ・質問票・予約票機能
料金	月額 5~10万円	+	月額 数万円 + 初期：数百万円~ 月額：数十万円~
導入自治体数 <small>(全国の自治体数 1,741)</small>	522	70	45

伴走型
相談支援
追い風



(ご参考) ヘルスケア事業：母子手帳アプリ+子育てDX

Phase 3：子育てDXサービス

子育て対策を早期に着手した自治体、 当社サービス導入により先行的なDXを推進

福岡県北九州市

妊娠届の電子化（アプリ）

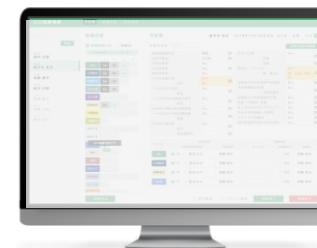
- ・母子手帳交付の事前申請がアプリで可能
- ・アプリ経由での妊娠届提出、出生率の93%以上



千葉県市原市

小児予防接種のデジタル予診票

- ・導入医療機関でデジタル予診票利用進む
- ・予防接種間隔の確認作業、3分から数秒に短縮



生徒と教師をつなぐ

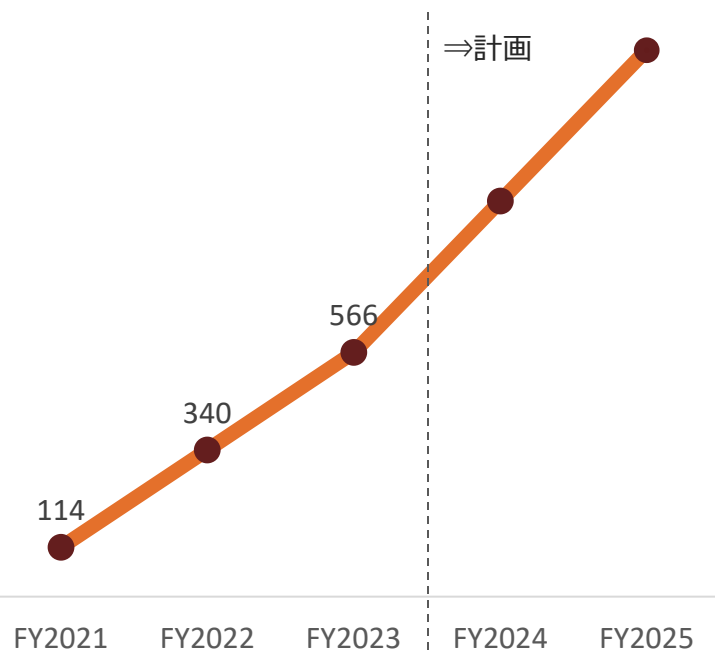
クラウド型校務支援システム

BLEND



学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

導入学校数の拡大イメージ

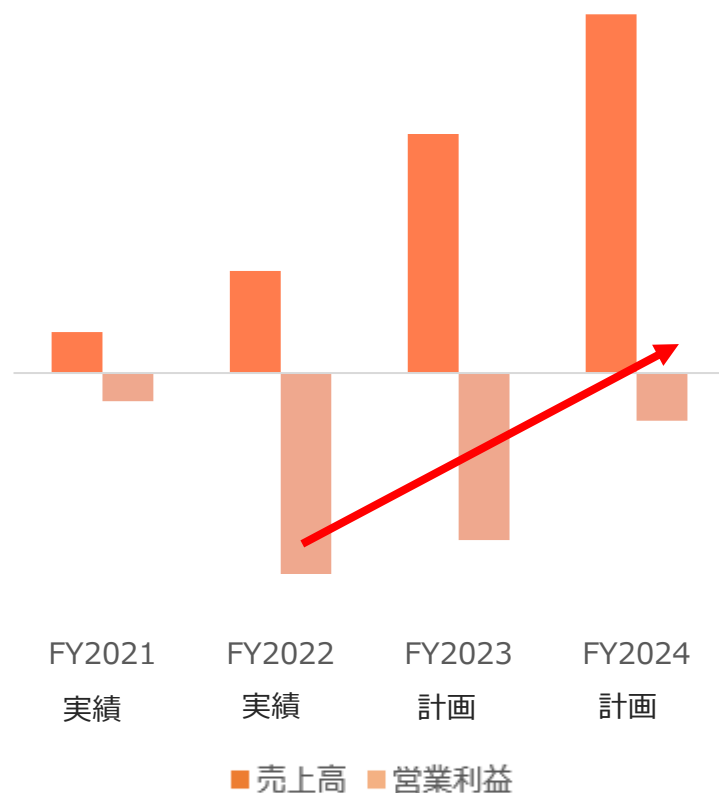


来期の導入学校数拡大へ

- ・ 2023年10月導入の受注確定 (26校)
- ・ 2024年4月導入の候補案件多数

学校DX事業 クラウド型校務支援システム **BLEND**

中期的な収益イメージ



来期の大幅赤字縮小に目処

売上高：導入学校数の拡大

営業利益：1校当たり導入費用の大幅削減

中期的な収益イメージ (セグメント別)

コンテンツ事業

有料会員数減少幅縮小・高需要コンテンツに集中

ヘルスケア事業

ストック売上 (=利益) 拡大に注力

学校DX事業

短期間で急成長

その他事業

(大手法人向けDX支援、AI事業等)

ありがとうございました。



〈お問い合わせ先〉
株式会社エムティーアイ IR室
e-mail: ir@mti.co.jp
<https://ir.mti.co.jp>